

県立不動岡高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	普通科	R8.5.1 生徒数	(男) 467 (女) 596	計	1063		
アクセス	東武伊勢崎線加須駅北口下車徒歩 20 分。 朝日バス「加須駅北口」より 5 分「不動岡高校前」下車徒歩 2 分								
＜目指す学校像＞									
明日の世界を創造する品格あるリーダーの育成 科学教育と国際理解教育の拠点校として地域文化への貢献									
＜教育課程等＞ ※ 1									
<ol style="list-style-type: none"> 1 あらゆる学問分野の基礎基本となる知識・技能を確実に習得させ、専門性の高い選択科目を幅広く設定するとともに、進路実現に必要な学力および卒業後の学問的探究の基礎を養う。 2 探究活動を体系的に計画・実施することにより、正解のない問いを自ら設定し、試行錯誤しながら社会と積極的に関わり納得解を見出す機会を充実させる。 3 実践的なコミュニケーション能力や他者と協働する力を身につけさせるため、多様な言語活動や表現・発表機会を充実させるとともに、ICT を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行う。 4 科学的素養の育成やグローバルな視野の獲得に資する多様な学習機会を設定し、文理の枠を超えた知的好奇心や社会課題に対する意識を高める。 5 課外活動を含む教育活動全般において、生徒自らが考え、判断し、責任を持って行動できるよう生徒の自主性を重んじる。 									
＜本校が求める生徒＞ ※ 2									
「文理の枠を超える」、「出すぎた杭になれる」、「遠回りを恐れない」、「納得する力をもてる」、「泥臭くあれ」、「『諦め』悪くあれ」という本校の生徒像を理解し賛同する生徒									
＜学校行事＞									
学校祭（体育祭・文化祭・市中パレード）、修学旅行（令和 8 年度は台湾）、徒歩ラリー、地元加須市で実施されるこいのぼりマラソンへの参加、校内英語スピーチコンテスト「ポプラカップ」、日頃の探究活動の成果を発表する「生徒研究発表会」、希望制の海外研修（オーストラリア、フランス、マレーシア）、国内留学プログラム、探究イベント（ふくしま学宿、地学野外実習、研究室訪問）、外部講師による講演会（進路、地域課題、異文化理解）、など									
＜部活動＞									
<p>運動部：陸上競技、野球、サッカー、ラグビー、剣道、バスケットボール男子、バスケットボール女子、バレーボール男子、バレーボール女子、卓球、ソフトテニス男子、ソフトテニス女子、テニス男子、テニス女子、山岳、水泳、応援、バドミントン</p> <p>文化部：吹奏楽、音楽、天文、化学、理科学（物理・情報班、生物班、数学班）、写真、新聞、放送、図書文芸、箏曲、茶道、華道、演劇、美術、書道、ESS、競技かるた、軽音楽</p> <p>同好会：クッキング、JRC、漫画研究、ダンス</p> <p style="margin-left: 40px;">※全国大会出場（令和 7 年度までの主な実績）：陸上競技部（H16 より 2 3 年連続）、新聞部（H17 より 2 2 年連続）、写真部（R7）、放送部（R1、R3）、水泳部（H27、28、29 年）、箏曲部（H29 年）、SSC 生物班（R5 年）、SSC 物理班（H28 年）、軽音楽部（R7）</p>									
＜家庭・地域との連携＞									
加須市役所等の行政機関や地域諸団体と連携したフィールドワークの実施（探究活動）、加須市挨拶運動への参加（生徒会）、地域施設等からの招待による演奏会（音楽部、吹奏楽部、箏曲部等）、不動岡サイエンス教室（小学生対象）の実施、加須市内小学校とのスポーツ交流（バレーボール、野球）、加須警察署との連携による交通安全運動への参加（「無事カエル」人形配布、吹奏楽部、応援部、ダンス同好会）									
進路	R8.3 卒業生	四大	318 人	短大	2 人	専門	1 人	就職	0 人
	傾向	国公立大学合格者数は 118 名（うち現役合格者 103 名）。関東圏以外の国公立大学合格者も増えている。早稲田、慶応、上智、東京理科の各大学合格者合計は 101 名（現役 97 名）。学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政大学（GMARCH）の合格者は 216 名（現役 202 名）。本校の特色ある教育課程を生かし、教科横断型の総合的な学力を問う大学入試にも積極的に挑戦している。							

【学校教育法施行規則第 103 条の 2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



【スクール・ミッション】

科学教育と国際理解教育を軸に地域に貢献する学校として、探究活動及び文理融合型のリベラルアーツを実践し、知識・技能や思考力・判断力・表現力、主体的に学びに向かう力を総合的に養い、**明日の世界を創造する品格あるリーダー**となる人材を育成する。

【グラデュエーション・ポリシー】 3年次卒業までに育成を目指す資質・能力

1. 自立した行動力と最後までやり抜く力 -Independence & Perseverance-

常に課題意識を持ち、自ら設定した目標達成に向けて、主体的に考え、判断・行動し、最後までやり抜く力を育む。

2. 挑戦する姿勢と社会貢献する姿勢 - Challenge & Contribution -

高い志のもと、高度な知識と探究心を持ち、何事にも失敗を恐れず挑戦し、地域社会や日本・世界の課題解決に向けて意欲的に貢献しようとする姿勢を育む。

3. 他者との協働と豊かな人間性 - Collaboration & Humanity -

様々な人々との関わりの中で他者と積極的に協働しながら、個性や感性を生かした豊かな人間性を育む。

4. 文理の枠を超えるしなやかな知性と新たな価値を生み出す力 -Intelligence & Creativity -

教育活動全般をとおして、科学的素養・国際感覚を養い、文理の枠を超える広い視野と論理的な思考力・しなやかな知性を持って、新しい価値を創造する力を育む。

【カリキュラム・ポリシー】 3年間の教育課程の編成及び実施に関する方針

- あらゆる学問分野の基礎基本となる知識・技能を確実に習得させ、専門性の高い選択科目を幅広く設定するとともに、**進路実現に必要な学力および卒業後の学問的探究の基礎を養う。**
- 探究活動**を体系的に計画・実施することにより、**正解のない問いを自ら設定し**、試行錯誤しながら社会と積極的に関わり納得解を見出す機会を充実させる。
- 実践的なコミュニケーション能力や他者と協働する力を身につけさせるため、**多様な言語活動や表現・発表機会**を充実させるとともに、**ICTを効果的に活用し**、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行う。
- 科学的素養の育成やグローバルな視野の獲得**に資する多様な学習機会を設定し、**文理の枠を超えた知的好奇心や社会課題に対する意識**を高める。
- 課外活動を含む教育活動全般において、生徒自らが考え、判断し、責任を持って行動できるよう**生徒の自主性を重んじる。**

【アドミッション・ポリシー】 入学者の受入れに関する方針 ～6つのキーワード～

- ①文理の枠を超える ②出すぎた杭になれる ③遠回りを恐れない ④納得する力をもてる ⑤泥臭くあれ ⑥「諦め」悪くあれ

ミッション実現に向けた特色ある取組

- 3年間の体系的な探究活動「未来探究」
1年次:探究スキル習得、SDGs探究
2年次:3分野から選択
→地域課題研究・異文化理解・理数探究
3年次:小論文作成・相互評価
- 文理融合のテーマをとおして学問的探究の基礎を築く3年次科目「リベラルアーツ」
- 専門性の高い選択科目・・・第2外国語(独・仏・中)、情報Ⅱ、スポーツ研究、芸術研究、家庭研究など
- 充実の海外研修プログラム・・・オーストラリア、フランス、マレーシア
- 希望参加型探究イベント・・・ふくしま学宿、理化学研究所訪問など
- 外国語科のレガシーを引き継ぐアウトプット重視の英語教育・・・校内英語スピーチコンテスト「ポプラカップ」、国内英語研修
- 積極的な地域貢献活動・・・教育活動の成果を探究活動や部活動等をとおして地域に還元



生徒の自主的運営による
多彩な学校行事(学校祭等)と部活動